

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

| | | | |
|---|---|------|----------------------|
| 施設名 | 新潟市巻ほたるの里公園 | | |
| 管理者名 | | 指定期間 | 令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 |
| 担当課 | 西蒲区産業観光課(じよんのび館、角田山自然館)、建設課(多目的広場) | | |
| 所在地 | 新潟市西蒲区福井4067番地 | | |
| 根拠法令 | | | |
| 設置条例 | 新潟市巻ほたるの里公園条例 | | |
| 施設概要 | 【じよんのび館】 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積3,079.31㎡ 用地17,783.88㎡ 浴室2、露天風呂2、サウナ、貸室7、食堂 【角田山自然館】 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積456.30㎡ 展示室、ギャラリー 【多目的広場】 用地45,473.03㎡ | | |
| 施設設置目的 | | | |
| 市民に保健及び保養並びに自然散策の場を提供することにより、余暇活動、健康の増進及び生活文化の向上に寄与することを目的として、新潟市巻ほたるの里公園を設置する。 | | | |
| 管理・運営に関する基本理念、方針等 | | | |
| 新潟市巻ほたるの里公園(以下「ほたるの里公園」という。)の管理運営にあたっては、市民の余暇活動の充実を図る観光施設として、また、健康寿命の延伸を目指す健康づくりの施設として活用することを目指すものとし、次の各事項に留意して事業を行う。 <ol style="list-style-type: none">市民が広く利用する公の施設であるという性格を十分認識して、管理運営を行うものとする。利用者の安全を最優先に考え、利用者にとって快適な環境を提供するものとする。日常点検及び定期点検により適切に保守・整備を行い、常に施設を安全で良好な状態に保つものとする。利用者の確保に向け、地域との連携や周辺自然環境の有効活用に配慮し、創意工夫をもって魅力ある施設運営を行う。地域との連携にあたっては、公の施設の公益性に鑑み、公平・中立な立場で運営にあたるものとする。法令を遵守し施設の管理運営を適切に行う。指定管理者制度を理解し、実践する。 | | | |

| 視 点 | 評価項目 | 評価指標 | 実績 | 評価 | 評価コメント |
|---------|---------------------|---|------------------------------|----------------|-----------------------------|
| 市 民 | じよんのび館利用者数 | 年100,740人以上 | 79,669人 | B | 休館期間を考慮すると達成されている。 |
| | 角田山自然館 | 角田山にちなんだ取り組みを年3回以上実施 | 2回実施 | B | 休館期間があったため達成とみなす。 |
| | 多目的広場 | 異常発見時、速やかに報告 | 異常時は即時報告 | B | |
| | 利用者満足度 | 利用者アンケートで「満足」が80%以上 | 満足・やや満足合計67% | C | 目標を13ポイント下回った。満足度向上に努力されたい。 |
| | 市民の健康増進への寄与 | 健康増進事業の実施 | 健康チェック体験会などの開催 | B | |
| | 苦情・要望に対する対応 | 苦情・要望には原則5営業日以内に回答 | 速やかに対応 事故は即時報告 | B | |
| 財 務 | 財務管理 | 半期ごとの経営評価会議の実施 | 月1回以上実施 | A | 毎月実施している。 |
| | 健全な事業運営 | 収支計画の数値を達成するとともに、安定・継続的な財務運営を行う。 | 計画的な収支計画に基づき継続的な経費削減に取り組んでいる | B | |
| 業 務 | 事業の適正な実施 | 事業計画に基づく事業の実施 | 実施している | B | |
| | | 運営マニュアルの作成 | 作成している | B | |
| | 事業報告 | 定められた期日までに提出 | 遵守している | B | |
| | 市民協働の推進、地域、関係団体との連携 | 年1回以上実施 | 年3回実施 | A | 多数の地域の企業や団体と連携している。 |
| | 安全安心の確保、緊急時の対応の適切さ | 防災・避難訓練の実施、危機管理マニュアルにそって発生時、迅速、誠意を持って対応 | 年2回実施 | B | |
| | 衛生管理の徹底 | 新潟市公衆浴場法施行条例の遵守 | 遵守している | B | |
| | 温泉井戸の管理 | 定期的な水位の把握と報告 | 実施している | B | |
| | 当該施設の管理に係る関係法令の遵守 | コンプライアンス研修の実施 | 整備済み 職員研修実施 | B | |
| | 業務仕様書等に定める事項の遵守 | 業務仕様書等に定める事項の遵守 | 遵守している | B | |
| | 人 材 | 職員の業務理解度能力向上 | 職務に応じた実務研修の実施 | 毎月の全体ミーティングで確認 | B |
| 労働基準の充足 | | 労働関係法令の遵守 | 遵守している | B | |

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

入館者減の要因としては、7月19日から12月20日の5カ月間、機械室の大規模改修工事の臨時休館があったためです。臨時休館中は、森のサウナの外気浴スペースの新設、壊れたままとなっていたミストサウナの場所を新たにスチームサウナとして復活させました。また、食堂の中庭に子ども達が遊べる山を作ったり、脱衣所の床材の貼り替え、露天風呂への長い階段を裸足で快適に歩けるようにゴムチップマットを敷き詰めるなどの改装を行いました。さらに、館内の家具をホームセンターなどで手に入る材料を使ってスタッフ自身がDIYで作り上げ、それに合わせた館内サイン看板の工事などのリニューアルを実施しました。リニューアルオープン後には、お客様からお叱りの声も含めて大変多くのご意見をいただきました。それに対して真摯に向き合い即時改善できる部分に関しては即時対応してお客様のご期待に応えるよう努めて参りました。

令和4年度の取組みとしては、「地域の魅力を発信する日帰り温泉」をテーマとしたイベントや活動をしていく計画です。今まで行ってきた「地域と繋がる」に、さらにもう一步踏み込んで、地域の方々と今まで以上の関係性を築き「地域の魅力」を理解した上で、ご来館されるお客様に発信し、利用者数の目標を達成できるよう努めて参ります。

また、利用者満足度の未達成項目に関しては、お客様のお声に寄り添い、即時改善できるものに関しては迅速且つ的確に対応することで、利用者満足度の向上に努めて参ります。

所管課による総合評価(所見)

新型コロナウイルスの影響が残る中、経費削減を図りつつ森のサウナを活かした施設運営を展開し、若い世代の入館が増えるなど効果が現れました。また、地域産業と連携したイベントの実施や地域の新鮮な食材を販売するなど、地域とのつながりを重視した取り組みも積極的に行いました。今後も適切な施設管理と、満足度の高い施設運営となるよう期待しています。